

令和6年度 第2回鎌倉市国民健康保険運営協議会会議次第

日 時 令和6年8月22日（木）

午後1時30分から

場 所 402会議室

議 題

- (1) 令和5年度鎌倉市国民健康保険特別会計決算について

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1-1～1-5

- (2) 国民健康保険事業について

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料2

- (3) その他

資料1-1 令和5年度鎌倉市国民健康保険事業特別会計決算概要

資料1-2 令和5年度鎌倉市国民健康保険事業特別会計決算歳出執行状況
(総括表)

資料1-3 令和5年度鎌倉市国民健康保険事業特別会計決算歳入執行状況
(総括表)

資料1-4 被保険者一人当りの諸費の推移

資料1-5 令和5年度決算の前年度との比較

資料2 国民健康保険の保健事業の令和5年度実績及び令和6年度の実施予定

国民健康保険運営協議会委員名簿

(敬称省略)

区 分	氏 名	備 考
被保険者代表	友松 由紀子	
〃	内田 由紀	
〃	中本 淳子	
〃	松村 俊樹	
〃	千代 美和子	
医療担当代表	山口 泰	
〃	倉岡 隆	
〃	山内 由光	
〃	島田 博	
〃	金林 茂	
公 益 代 表	酒井 捷允	会長
〃	吉中 季子	
〃	松宮 さきく	
〃	近内 美乃里	副会長
〃	笠間 玲子	
被用者保険等 被 保 険 者 代 表	阿部 美弥子	

令和5年度 鎌倉市国民健康保険事業特別会計決算概要

歳入	千円	
国民健康保険料	4,211,911	24.89%
国庫支出金	600	0.05%
県支出金	10,918,640	64.51%
繰入金	1,547,281	9.14%
その他	245,987	1.45%
合 計	16,924,419	100.00%

(その他内訳)

繰越金	201,982
諸収入	43,842
財産収入	163
一部負担金	0

歳出	千円	
総務費	245,115	1.46%
保険給付費	10,796,492	64.99%
国民健康保険事業費納付金	5,425,790	32.39%
共同事業拠出金	1	0.00%
保健事業費	140,112	0.84%
基金積立金	130,163	0.78%
その他	11,235	0.07%
合 計	16,748,908	100.00%

(その他内訳)

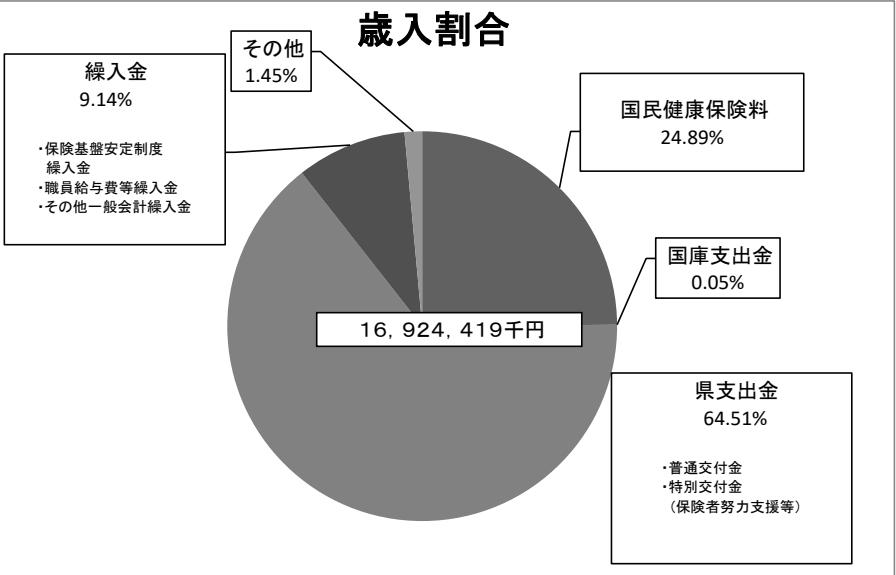
諸支出金	11,235
予備費	0

差引金額（歳入－歳出）	175,511
-------------	---------

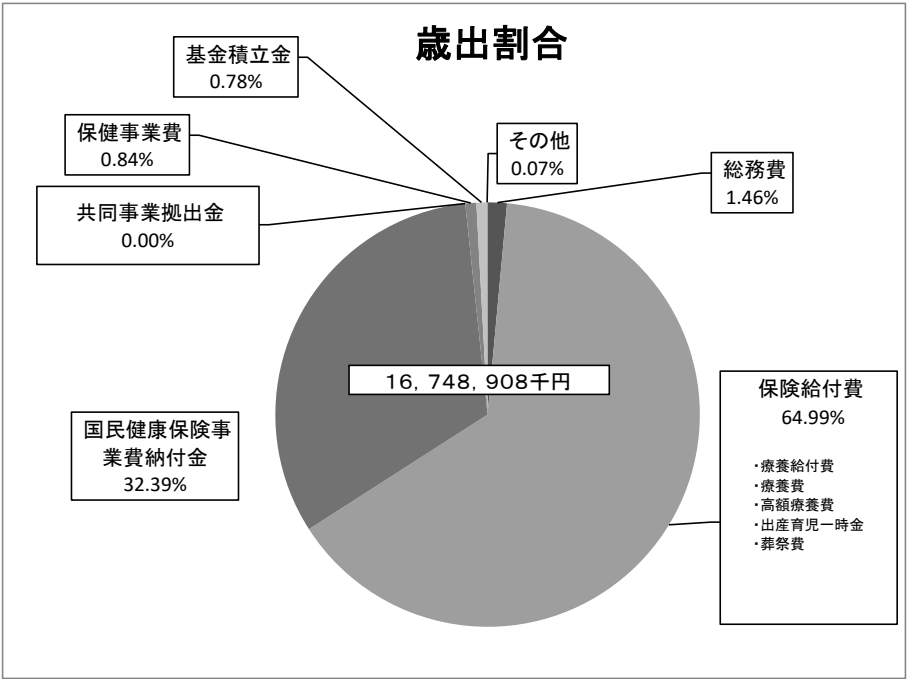
※千円未満の金額は四捨五入又は切り上げ、切り捨てにより調整しています。

健康福祉部保険年金課

歳入割合



歳出割合



【歳出】

資料 1 - 2

令和 5 年度 鎌倉市国民健康保険事業特別会計決算歳出執行状況（総括表）

(単位:円)

款	令和4年度 執行済額	令和5年度								
		予 算 現 額					執行済額	翌年度 繰越額	執行未済額	
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越金	予備費充用額 及び流用額	計				
5 総務費	242, 208, 013	256, 624, 000	4, 910, 000	0	0	261, 534, 000	245, 115, 079	1. 2	0	16, 418, 921
10 保険給付費	10, 960, 979, 415	11, 111, 821, 000	40, 000, 000	0	0	11, 151, 821, 000	10, 796, 491, 904	△ 1. 5	0	355, 329, 096
11 国民健康保険事業費納付金	5, 113, 975, 717	5, 425, 791, 000	0	0	0	5, 425, 791, 000	5, 425, 790, 064	6. 1	0	936
20 共同事業拠出金	228	3, 000	0	0	0	3, 000	390	71. 1	0	2, 610
25 保健事業費	137, 358, 401	174, 951, 000	0	0	0	174, 951, 000	140, 112, 029	2. 0	0	34, 838, 971
27 基金積立金	238, 598, 000	57, 000	130, 161, 000	0	0	130, 218, 000	130, 163, 265	△ 45. 4	0	54, 735
30 諸支出金	11, 384, 057	18, 453, 000	0	0	0	18, 453, 000	11, 235, 229	△ 1. 3	0	7, 217, 771
35 予備費	0	10, 000, 000	0	0	0	10, 000, 000	0	0. 0	0	10, 000, 000
合 計	16, 704, 503, 831	16, 997, 700, 000	175, 071, 000	0	0	17, 172, 771, 000	16, 748, 907, 960	0. 3	0	423, 863, 040

【歳入】

資料 1 - 3

令和 5 年度 鎌倉市国民健康保険事業特別会計決算歳入執行状況（総括表）

（単位：円）

款	令和4年度 収入済額	令和5年度							
		予 算 現 額			調定額	収入済額	対前年比(%)	不 納 欠損額	収入未済額
		当初予算額	補正予算額	計					
5 国民健康保険料	4,017,780,890	4,182,289,000	△ 99,123,000	4,083,166,000	4,721,562,657	4,211,911,335	4.8	86,978,375	422,672,947
10 一部負担金	0	4,000	0	4,000	0	0	0.0	0	0
20 国庫支出金	401,000	711,000	103,000	814,000	600,000	600,000	49.6	0	0
25 療養給付費交付金	0	1,000	0	1,000	0	0	0.0	0	0
30 県支出金	11,156,030,599	11,286,689,000	△ 4,514,000	11,282,175,000	10,918,640,286	10,918,640,286	△ 2.1	0	0
38 財産収入	41,211	57,000	161,000	218,000	163,265	163,265	296.2	0	0
40 繰入金	1,475,303,336	1,509,861,000	49,148,000	1,559,009,000	1,547,280,476	1,547,280,476	4.9	0	0
45 繰越金	238,588,455	2,000,000	199,981,000	201,981,000	201,981,709	201,981,709	△ 15.3	0	0
50 諸収入	18,340,049	16,088,000	29,315,000	45,403,000	43,841,673	43,841,673	139.0	0	0
合 計	16,906,485,540	16,997,700,000	175,071,000	17,172,771,000	17,434,070,066	16,924,418,744	0.1	86,978,375	422,672,947

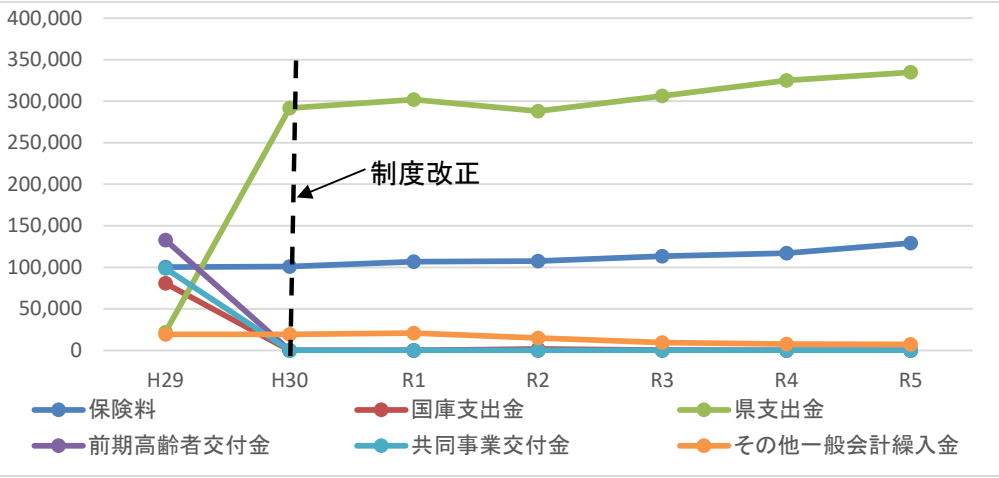
被保険者一人当たりの諸費の推移

【参考】被保険者数(年度平均)の推移

単位:人

H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
40,991	39,146	37,284	36,358	35,773	34,311	32,616

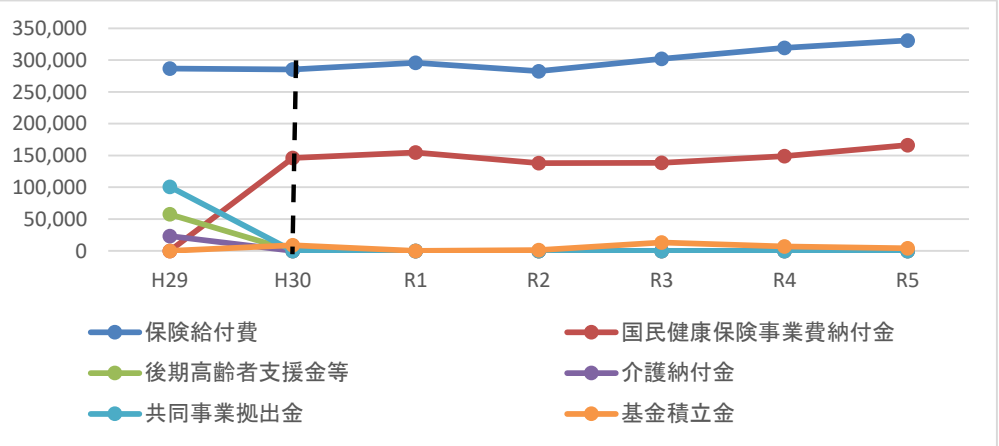
(歳入) 単位:円



単位:円

被保険者一人当たりの諸費の推移							
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
保険料	100,310	100,798	106,819	107,673	113,597	117,099	129,136
国庫支出金	80,712	6	25	1,743	263	12	18
県支出金	22,018	291,658	302,043	288,103	306,274	325,144	334,763
前期高齢者交付金	132,847	0	0	0	0	0	0
共同事業交付金	98,654	0	0	0	0	0	0
その他一般会計繰入金	19,419	19,218	20,855	15,094	9,335	7,467	7,242

(歳出) 単位:円



単位:円

被保険者一人当たりの諸費の推移							
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
保険給付費	286,814	285,437	295,896	282,690	301,878	319,460	331,018
国民健康保険事業費納付金	0	146,069	154,568	138,104	138,357	149,048	166,354
後期高齢者支援金等	57,442	0	0	0	0	0	0
介護納付金	23,293	0	0	0	0	0	0
共同事業拠出金	100,863	0	0	0	0	0	0
基金積立金	0	8,752	0.1	1,375.0	13,167.0	6,954.0	3,990.8

令和5年度決算の前年度との比較

歳入

科目		令和4年度		令和5年度	
		決算額（円）	対前年比	決算額（円）	対前年比
保険料（一般・医療）		2,616,255,569	-1.5%	2,657,081,082	1.6%
保険料（一般・後期）		992,148,469	-1.4%	1,120,986,737	13.0%
保険料（一般・介護）		409,376,852	2.0%	433,787,237	6.0%
保険料（退職・医療）		0	-100.0%	23,369	—
保険料（退職・後期）		0	-100.0%	23,565	—
保険料（退職・介護）		0	-100.0%	9,345	—
国庫補助金		401,000	-95.7%	600,000	49.6%
療養給付費交付金		0	0.0%	0	0.0%
県支出金		11,156,030,599	1.8%	10,918,640,286	-2.1%
繰入金	運営基金繰入金	163,817,000	0.0%	200,000,000	0.0%
	保険基盤安定繰入金	738,086,314	0.7%	779,344,497	5.6%
	職員給与費等繰入金	260,027,272	2.2%	253,564,000	-2.5%
	出産育児一時金繰入金	25,200,000	-25.0%	27,911,960	10.8%
	財政安定化支援事業繰入金	31,980,750	-25.0%	40,926,908	28.0%
	未就学児均等割保険料繰入金	0	—	8,494,856	—
	産前産後保険料繰入金	0	—	846,255	—
	その他一般会計繰入金	256,192,000	-23.3%	236,192,000	-7.8%
	繰越金	238,588,455	-41.2%	201,981,709	-15.3%
その他の収入		18,381,260	-24.8%	44,004,938	139.4%
合 計		16,906,485,540	0.3%	16,924,418,744	0.1%

資料1-5（参考）

歳出

科 目		令和4年度		令和5年度	
		決算額（円）	対前年比	決算額（円）	対前年比
総 務 費		242,208,013	1.7%	245,115,079	1.2%
保 険 給 付 費	療養給付費（一般）	9,486,943,880	1.0%	9,320,563,312	-1.8%
	療養給付費（退職）	12,250	-96.2%	0	—
	療 養 費 （ 一 般 ）	97,841,481	9.5%	90,689,267	-7.3%
	療 養 費 （ 退 職 ）	0	—	0	—
	審 査 支 払 手 数 料	27,167,173	-18.2%	32,251,518	18.7%
	高額療養費（一般）	1,305,227,097	6.2%	1,302,188,101	-0.2%
	高額療養費（退職）	0	—	0	—
	高額介護合算療養費	1,053,763	-22.2%	1,340,097	27.2%
	出 産 育 児 一 時 金	30,743,290	-30.8%	40,850,990	32.9%
	葬 祭 費	10,050,000	4.7%	8,300,000	-17.4%
	移 送 費	0	—	48,940	—
	傷 病 手 当 諸 費	1,940,481	100.0%	259,679	-86.6%
	小 計	10,960,979,415	1.5%	10,796,491,904	-1.5%
国民健康保険事業費納付金		5,113,975,717	3.3%	5,425,790,064	6.1%
共同事業拠出金		228	-4.2%	390	71.1%
保健事業費		137,358,401	-4.1%	140,112,029	2.0%
基金積立金		238,598,000	-49.3%	130,163,265	-45.4%
その他の支出		11,384,057	-35.4%	11,235,229	-1.3%
合 計		16,704,503,831	0.5%	16,748,907,960	0.3%

収 支 差 引 残 額	175,510,784
-------------	-------------

（資料２）国民健康保険の保健事業の令和５年度実績及び令和６年度の実施予定

事業名	令和５年度の実績（実績）							令和６年度の実施予定	
	事業名（詳細）	内容	実施時期	R 5実績 （特定保健指導データ： R6. 7. 1現在）	R 4実績	R 3実績	備考【委託先等】	実施方法及び変更点	目標値
1 特定健診 受診率向上対策 【特定健診受診率】 R5 35.8% R4 35.5% R3 34.3% R2 28.8% R1 33.4% （法定報告値）	(1) 【継続】 受診勧奨（40歳）	初めて特定健診の対象となる４０歳の方へ、受診勧奨のはがきを送付（R4でアンケート終了）	年３回６月、９月、１２月の受診券発送直後	送付数 306名 受診者数 56名 （18.3%）	送付数 312名 受診者数 69名 （22.1%） アンケート返送数 30名	送付数 356名 受診者数 83名 （23.3%） アンケート返送数 55名		【継続実施】 年３回５月、８月、１１月の受診券発送前	対象者全員
	(2) 【継続】 様々な機会を利用した受診勧奨	①受診券同封物 ②かかりつけ医から勧奨チラシを配付 ③薬局から勧奨チラシを配付	①受診券発送時 ②③通年実施	①受診対象者 23,108名 ②チラシ作成部数 5,000部 ③76薬局、各50部 （作成はR5、配付はR5.4月）	①受診対象者 24,168名 ②チラシ作成部数 5,000部 ③76薬局、各50部 （作成はR4、配付はR5.4月）	①受診対象者 27,463名 ②チラシ作成部数 5,000部 ③78薬局、各40部		【継続実施】 ①受診券発送時 ②③通年実施	①受診者全員 ②医療機関用 5,000部 ③薬局 15,000部
	(3) 【R5までで中止】 AI勧奨通知の送付	過去３年間に受診歴のある「まだら受診者」や受診歴のない者に対し、受診間隔・健診結果・受診行動などの情報をAIが分析し、「頑張り屋さん」「心配性さん」「面倒くさがり屋さん」等のタイプごとに受診につながるような文面のリコールはがきを送付。より効果的な受診勧奨はがきを選定し、郵送する。	年２回 （10月、１月）	勧奨数 19,715名 （R5.10発送：10,360名、 R6.1発送9,355名 ※２回発送で重複した者を除いた勧奨数 16,966名） 受診率 17.5% （受診者2,976名/勧奨数16,966名） ・連続受診 81.4% ・不定期受診 41.6% ・未経験 8.6% 【参考】 全体の受診率 35.8%	勧奨数 18,895名 （R4.7発送：666名、R4.9発送：6,850名、R5.1発送11,379名 ※３回発送で重複した者を除いた勧奨数 17,909名） 受診率 17.9% （受診者3,199名/勧奨数17,909名） ・連続受診 74.4% ・不定期受診 39.7% ・未経験 7.7% 【参考】 全体の受診率 34.5%	勧奨数 20,100名 （R3.9発送：9,023名、R4.1発送：11,077名 ※２回発送で重複した者を除いた勧奨数 16,432名） 受診率 27.0% （受診者4,432名/勧奨数16,432名） ・連続受診 75.3% ・不定期受診 51.7% ・未経験 6.5% 【参考】 全体の受診率 34.0%		未実施（令和７年度に予算要求予定）	—
	(4) 【継続】受診期間の柔軟な対応	受診推奨期間を過ぎても、健診実施期間内（令和５年６月～令和６年２月末）であれば、延長手続きなしに、受診可能。また、受診推奨期間前に受診を希望される場合は、申請により受診券を発行。 （受診推奨期間） ４～７月生：令和５年６～８月 ８～11月生：令和５年９～11月 12～3月生：令和５年12月～令和６年２月	（健診実施機関） 令和５年６月～令和６年２月末	左記のとおり	左記のとおり	左記のとおり		【継続実施】	—
	(5) 【継続】スポーツクラブお試しクーポン券利用状況	対象：特定健康診査受診者全員と動機づけ支援を受けた者 方法：アドバイスシート送付時に同封	利用期間 令和４年８月～令和５年７月31日	75名	141名	103名	こもれび山崎温水プール	対象：特定健康診査受診者全員と動機づけ支援を受けた者 方法：アドバイスシート送付時に同封	対象者全員
	(6) 【継続】人間ドック助成事業	特定健診の受診対象者が特定健診に代え、人間ドックを受診した時の費用の一部（上限額9,484円）を助成。	（助成期間） 指定医療機関： 令和５年６月～令和６年２月末受診分 窓口： 令和５年６月～令和６年３月末申請分（同年度受診に限る）	623名 ・指定医療機関：381名 ・窓口：242名	595名 ・指定医療機関：343名 ・窓口：252名	536名 ・指定医療機関：311名 ・窓口：225名	指定医療機関 ・清川病院 ・額田記念病院 ・大船中央病院 ・湘南記念病院	【継続実施】	

2 特定保健指導 利用率向上対策 【動機づけ支援 利用率】 R5 26.9% R4 29.0% R3 28.0% R2 26.1% R1 21.5% (法定報告値) 【積極的支援 利用率】 R5 24.6% R4 24.5% R3 23.2% R2 25.4% R1 19.6% (法定報告値)	(1) 【継続】 未利用者勧奨	①特定健康診査の結果、積極的支援の対象となった者に対し、結果説明時に健診担当医から生活習慣改善に向けた、各種プログラムへの参加を促す。また健診から2カ月を経過後も利用につながらない者に、電話で利用勧奨。 ②人間ドック利用者のうち、動機付け支援及び積極的支援となった対象には、医療機関からの健診結果送付時や人間ドック費用助成交付決定通知にお知らせを同封するとともに電話勧奨を実施。 (実施者) 栄養士、派遣保健師		電話勧奨は、 令和4年8月～令和5年5 月末まで	対象者 203名 架電数 延321回 利用者数 50名 (24.6%)	対象者 239名 架電数 延378回 利用者数 59名 (24.7%)	対象者 246名 架電数 延473回 利用者数 57名 (23.1%)		電話勧奨は、 令和6年8月～令和7年 5月末まで	対象者全員
	(2) 【継続】 特定保健指導 (動機づけ 支援)	特定健康診査の結果、動機付け支援の対象となった者に対し、保健指導を行っている。(鎌倉市医師会に委託) 令和元年度からは、人間ドック窓口申請者に対して市が実施。		保健指導期間：6か月 (令和4年6月～令和5年 5月) ①初回面接 ②3か月後アンケート ③6か月後アンケート	対象者 684名 利用者 184名 終了者 75名 (ドック対象者) 4名	対象者 663名 利用者 192名 終了者 100名 (ドック対象者) 5名	対象者 846名 利用者 237名 (ドック対象者) 8名	(委託先) 鎌倉市医師会 ※人間ドック利用者は【直営】	保健指導期間：3か月 (令和6年6月～令和7 年7月) ①初回面接 ②3か月後アンケート	423人 ※動機付け支援対象者 940人(見込み)の 45%】
	(3) 【継続】 特定保健指導 (積極的支援)	積極的支援の対象者が、生活習慣の改善に継続して取り組めるよう、自らの生活にとり入れやすい各種プログラムを設定。コロナ禍でも参加しやすいよう、オンライン対応2コースを設定。			対象者数 203名 (利用者：50名) (終了者： 7名)	対象者数 216名 (利用者：53名) (終了者：38名)	対象者数 246名 (利用者：57名)	対象者は保健指導不可も含む(データヘルス計画とあわせる)	自らの生活にとり入れやすい各種プログラムを設定。オンライン対応1コースを設定。	—
		Aおなかすっきり相談室	市保健師、栄養士による月一回3か月間の生活指導の実施	保健指導期間：6か月 (令和4年6月～令和5年12月) ①初回面接 (生活習慣改善目標と行動計画を設定) ②3か月間、A～Dのいずれかのコースを利用 ③3か月後アンケート ④6か月後アンケート ⑤必要に応じ、電話・メールによる支援を実施	7名 男性 6名(終了0名) 女性 1名(終了0名)	15名 男性 12名(終了5名) 女性 3名(終了2名)	10名 男性 7名 女性 3名		保健指導期間：3か月 (令和6年6月～令和7 年12月) ①初回面接 (生活習慣改善目標と行動計画を設定) ②3か月間、A～Cのいずれかのコースを利用 ③3か月後アンケート ④必要に応じ、電話・メールによる支援を実施	—
		Bスポーツクラブプログラム	市内及び近隣市のスポーツクラブを3か月間無料で利用し、運動習慣の獲得を図る		30名 男性 22名(終了7名) 女性 8名(終了0名)	26名 男性 20名(終了6名) 女性 6名(終了2名)	26名 男性 21名 女性 5名			—
		Cはかるだけダイエット (オンライン)	アプリと連携した健康測定機器を使用して、変化を自動的に見える化。スマホ・PCを使ったweb面接に対応。終了後のインセンティブ(ウェアラブル優待券)あり		13名 男性 9名(終了1名) 女性 4名(終了0名)	18名 男性 11名(終了8名) 女性 7名(終了3名)	19名 男性 14名 女性 5名			—
			【終了】 Dめざせ！美BODY☆ (オンライン)	初回はスマホやPCを使ったweb形式の面接を実施し、その後はチャットで支援。終了後のインセンティブ(スポーツクラブ優待券)あり		—	—	2名 男性 1名 女性 1名		
	(4) 特定保健指導従事者研修の開催(委託事業)	鎌倉市特定保健指導(動機付け支援)の委託先である鎌倉市医師会と協力し、対象者のモチベーションを維持し、効果的な生活改善を図ることを目的とした、動機付け支援従事者スキルアップ研修を開催。			実施なし		参加医療機関数 16機関 医師 8名 看護師 17名 栄養士 2名 その他 5名		次回実施予定は、 令和8年度	—
	(5)【継続】特定健康診査実施医療機関での利用勧奨(レッドカードの配布)	検診結果説明時に、健診担当医から保健指導の必要性を説明し、積極的支援プログラムの利用勧奨チラシ(レッドカード)を手渡し		健診結果説明時	配布数 79枚 (配布率 38.9%) 指導につながった数 26名(32.9%)	配布数 41枚 (配布率 17.8%) 指導につながった数 14名(34.1%)	配布数 65枚 (配布率 26.4%) 指導につながった数 16名(24.6%)		健診結果説明時	対象者全員
	(6) 【継続】アドバイスシート送付時の文書による通知	動機付け支援及び積極的支援対象者へ、健診実施2か月後に発送する「健康づくりアドバイスシート」送付時に勧奨チラシを同封		アドバイスシート送付期間 令和4年8月～令和5年4月	動機付け支援対象者 684名 積極的支援対象者 203名 (保健指導不可2名除く)	動機付け支援対象者 697名 積極的支援対象者 239名 (保健指導不可 ?名除く)	動機付け支援対象者 846名 積極的支援対象者 233名 (保健指導不可13名除く)		アドバイスシート送付期間 令和6年8月～令和7年4月	対象者全員

3生活習慣病重症化予防 R5 A早期予防型4名 B機器活用型0名 C腎症予防型0名 R4 A早期予防型2名 B機器活用型0名 C腎症予防型0名 R3 A早期予防型4名 B機器活用型2名 C腎症予防型1名 R2 A早期予防型1名 B機器活用型3名 C腎症予防型0名 R1 A早期予防型—未実施 B機器活用型—未実施 C腎症予防型4名	(1) 【継続】糖尿病重症化 予防事業 (直営：受診勧奨)	HbA1c5.6%以上の者に対し、健診結果説明時に健診担当医から、必要に応じて糖尿病の受療勧奨及び保健指導利用勧奨チラシを配布 ※R5はHbA1c6.5%以上へ変更	令和4年6月～令和5年2月（健診結果説明時）	—	—	—		令和6年6月～令和7年2月（健診結果説明時）	対象者全員 (参考：R4確定値で1780人が対象であった)
		健診結果でHbA1c6.5%以上、かつ6か月以上レセプトが確認できない者へ、糖尿病の受療勧奨を電話により実施（実施者）管理栄養士、派遣保健師	令和5年10月～令和6年6月	対象者 129名 勧奨者 116名 架電回数220回	対象者 46名 勧奨者 38名 架電回数85回	対象者 133名 勧奨者 132名		【実施期間R6.10～R7.6（以下同じ）】 HbA1c6.5%以上で6か月以上レセプトが確認できない者へ、電話による受療勧奨	対象者全員
		健診結果でHbA1c7.0%以上、かつ糖尿病専門医への受診が見られない者へ、健診医療機関からの糖尿病の保健指導利用勧奨を依頼	令和5年10月～令和6年6月	対象者120名	対象者 153名	対象者 182名		糖尿病専門医の受療が見られない者に対象を絞って実施	対象者全員
		健診結果でHbA1c6.5%以上、受療勧奨、利用勧奨の際に「よろず相談」の希望があった者		希望者7名（実施者6名）				継続実施	—
		受療確認できない者に文書（アンケート同封）、電話による受療勧奨を実施。あわせて対象者リストを健診実施医療機関に送付（※架電状況が良いため、R4から上記に統一）		—	※R4から受療勧奨事業に含める	対象者 61名 アンケート返送 6名 架電 22名（延66回） 受療 6名		受療勧奨事業として継続	対象者全員
	(2) 【継続】糖尿病重症化予防 事業（委託事業）	糖尿病の治療中の者に対し、重症化予防のための保健指導を実施。HbA1c等の検査値から階層化したプログラムの利用を設定し。主治医と連携した重症化予防を目指す。	保健指導（委託）：通年	—	—	—		継続実施	—
		Aコース：早期予防型（知ったくコース） 対象：糖尿病の受診中でインスリン治療をしていない者かつ合併症がない又は軽度 内容：医療機関の管理栄養士による食事・生活アドバイス（1回）		4名	2名	4名			15名
		Bコース：機器活用型（モニタリングコース） 対象：糖尿病の受診中でインスリン治療をしていない者かつ合併症がない又は軽度 内容：医療機関の管理栄養士による食事・生活アドバイス（1回）、血糖モニタリング機器の活用（3か月間）		0名	0名	2名			15名
		Cコース：腎症予防型（保健指導3回） 対象：糖尿病治療中で、eGFR60未満かつ尿蛋白1＋以上の者 内容：医療機関の管理栄養士による食事・生活アドバイス（月1回×3か月）		0名	0名	1名			16名
	(3) 【新】糖尿病重症化予防 事業（ICT機器活用型） ※令和6年度から							アプリにグルコースモニタリングシステム（リブレ）と健康測定機器を連携させて使用することで、血糖値と生活習慣等の変化を自動的に見える化。スマホを使ったweb面接に対応。終了後のイベントあり。	9名（原則申込制）
4重複・多受診者対策	(1) 【継続】適正利用に関する通知	2つ以上の医療機関から3か月続けて同一薬剤（向精神薬）の処方を受けている者に対し、通知書の送付・アンケート実施・面接等により、適正受診を促す。	年1回	対象者13名 通知：11名 面談等指導：延6名 （保健師で対応＋年金課対応1名含む） ※R6.3月に実施	通知：5名 面談等指導：0名 （転出1名、電話不明1名、保健指導対象外：3名） ※R5.3月に実施	通知：5名 面談等指導：3名 ※R4.3月に実施		年1回 令和6年中（予定） 向精神薬に限定（保健師）	対象者全員
5後発医薬品使用促進	(1) 【継続】差額通知の発送	ジェネリック（後発）医薬品に切り替えることで、いくら費用が減額されるのか通知することによって、利用促進を図る。	年2回 令和5年9月、令和6年3月	R5年9月送付 1,239名 R6年3月送付 1,139名	R4年9月送付 768名 R5年3月送付 1,389名	R3年9月送付 1,487名 R4年3月送付 1,715名		年2回 令和6年10月、令和7年2月（予定）	対象者全員
	(2) 【新】特定健診受診勧奨 チラシと併せた周知	（1面）特定健診の受診勧奨、（2面）後発医薬品の利用促進を印刷しチラシを配布	通年実施	76薬局、各50部 （R4年度予算でR5.3月に作成したものをR5.4月に配付。そのため、R5年度予算は執行していない。健診票の単価上昇に伴い予算が不足したことから、そちらへ流用した。）	76薬局、各50部 （作成はR4、配付はR5.4月）	※R4.2月に実施 78薬局、40部ずつ		通年実施	対象医療機関全て （薬剤師会に加盟の薬局）